

綿引幸造写真展  
第11弾

『安田侃の彫刻〈下〉』

2025年4月29日(火・祝)  
～10月26日(日)

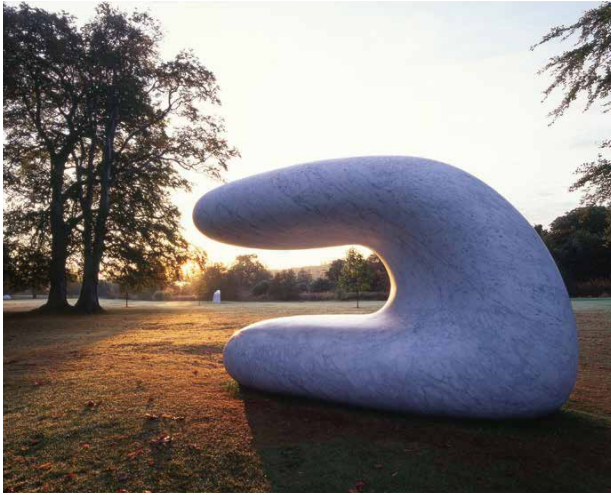
開館時間 10:00～16:00  
入場無料 期間中休館なし

綿引幸造「<sup>とき</sup>季の色」館  
ギャラリー 神々の遊<sup>ど</sup>ぶ庭<sup>内</sup>

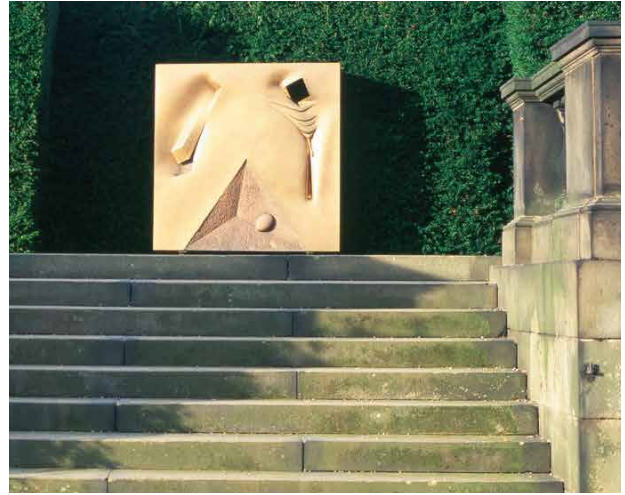
〒076-0048  
北海道富良野市清水山「カンパーナ六花亭」内  
電話 0167-39-0006

写真 月光に映える彫刻「翔生」(ヨークシャー・イギリス)

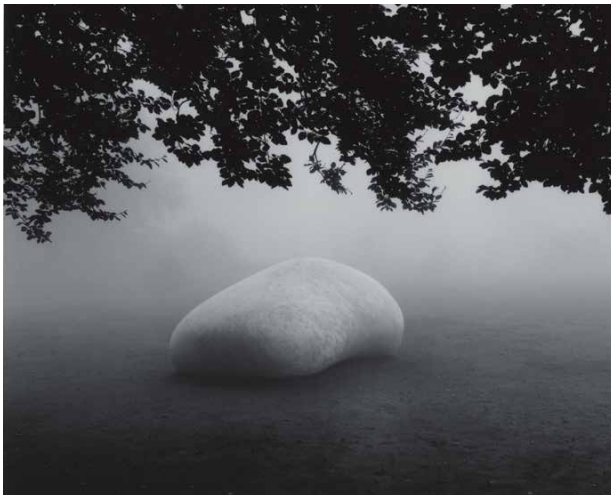
企画・運営 六花亭



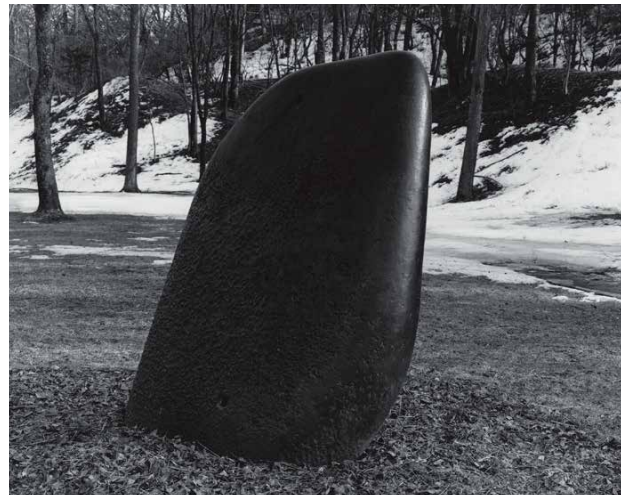
朝光を浴びた彫刻「天泉」ヨークシャー・イギリス



斜光に光る彫刻「無何有」ヨークシャー・イギリス



霧の中の彫刻「意心帰」ヨークシャー・イギリス



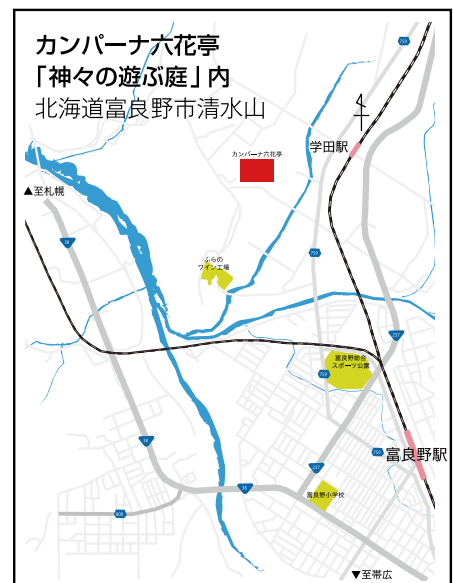
残雪と彫刻「地人」軽井沢町セゾン現代美術館

1988年5月、雑誌「味と旅」編集長山本洋子さんから声が掛かり、彫刻家安田侃の「意心帰」を撮影した。彫刻の撮影は綿引幸造にとって初めての試みだった。

1991年イタリアのミラノ市で安田侃の初めての野外彫刻展「彫刻の道」開催した。綿引はそれを撮影、1993年にミラノ市で写真展「写真の中の彫刻」を開催した。「侃が戻ってきた!」とミラノっ子を喜ばせた。

安田侃さん（美唄市出身）が制作した巨大な抽象彫刻に魅せられ、イタリアに翔んだ綿引は手当たり次第に撮影。

ミラノを手始めに大理石産地のピエトラサンタ、イギリスのヨークシャー・スカルプチャーパークなど写真の中の「彫刻」を撮り続けた。



JR 富良野駅から車で 10 分・JR 学田駅から 928m